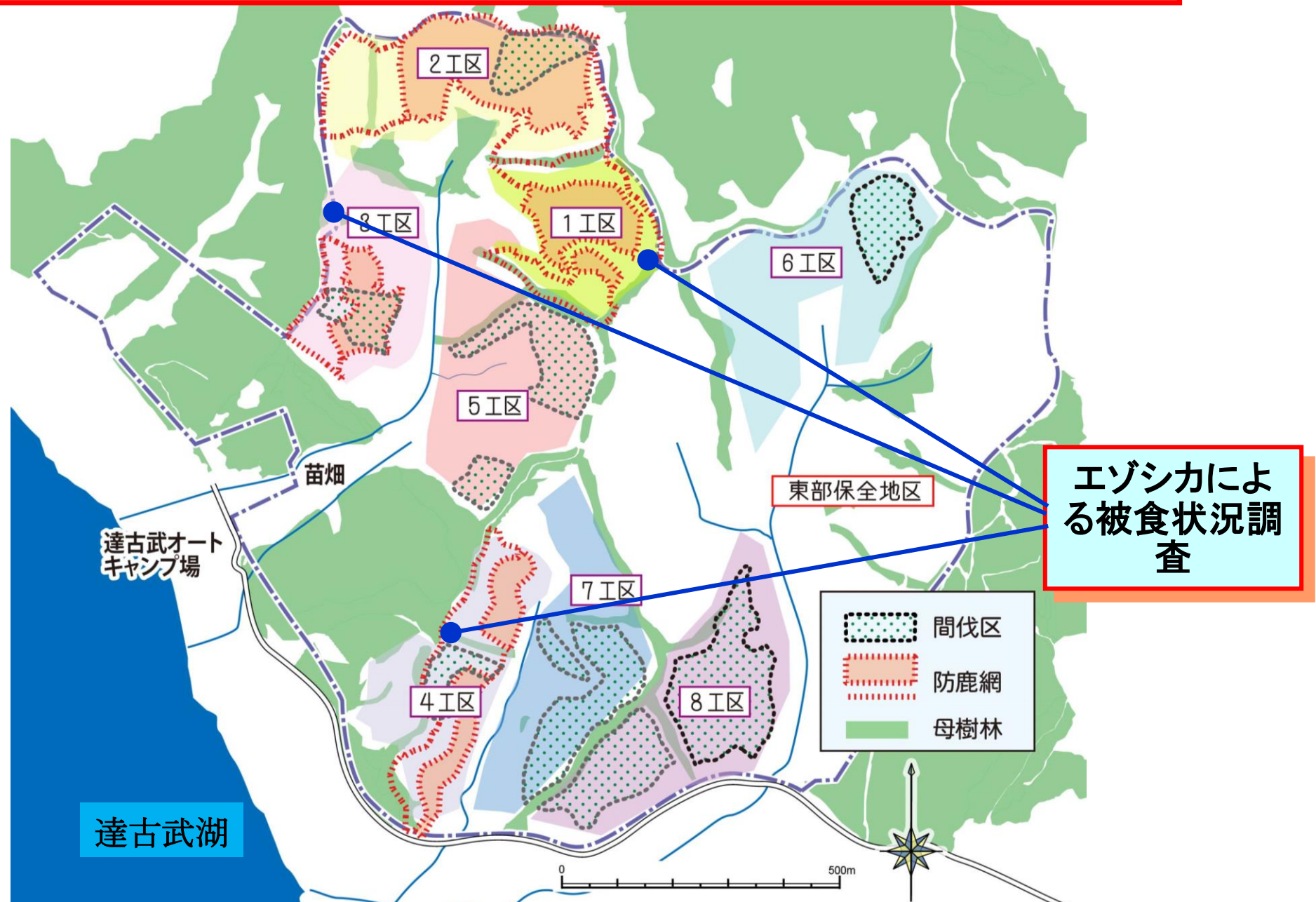


# 【参考】達古武におけるエゾシカ調査報告



# エゾシカによる稚樹の被食状況①

## 調査目的

- シカ捕獲の効果検証、柵外での被食増加の検証

## 対象手法

- 6エリアで柵外に生育する稚樹183本を調査。枯死した場合は新規追加。

## 調査稚樹

樹種	本数
アオダモ	47
サワシバ	37
オオモミジ	17
イタヤカエデ	14
ミズナラ	12
ヤチダモ	12
ミヤマザクラ	8
計	183



調査ライン



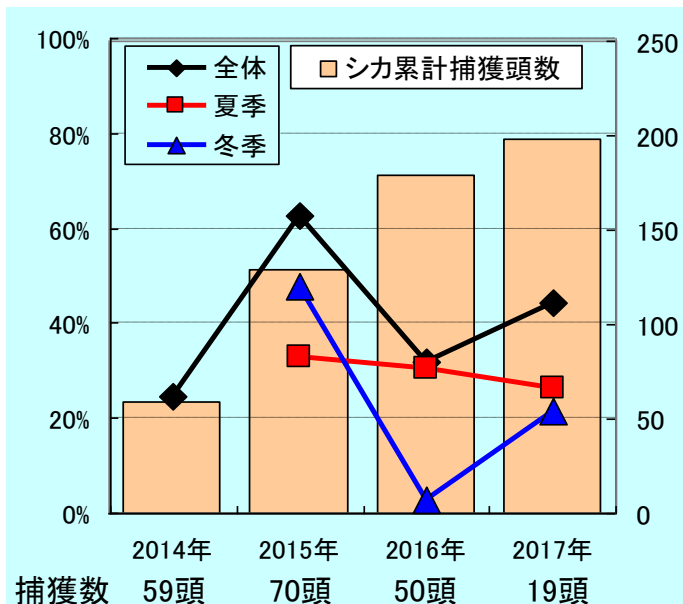
アオダモ食痕



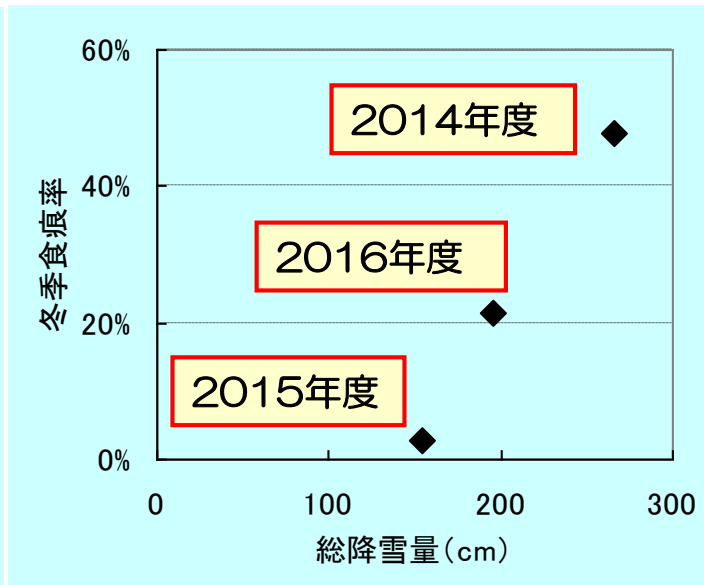
ミズナラ食痕

# エゾシカによる稚樹の被食状況②

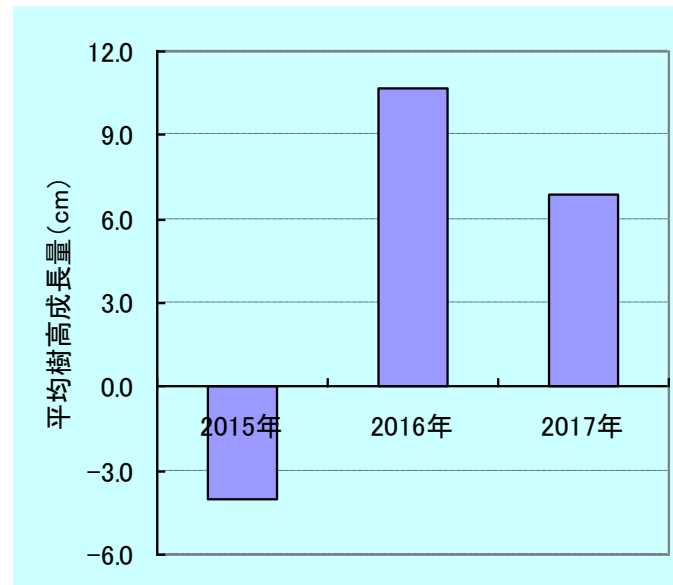
## 新規食痕の割合



## 総降雪量と冬季食痕率



## 平均樹高成長量



### 調査結果

- ❑ 冬季の食痕率は昨年よりも増加。降雪量により、被食の影響が変化
- ❑ 夏季の食痕は減少傾向。
- ❑ 被食されても樹高は増加傾向。

### 方針

- ❑ 樹高増加や夏季のシカの影響の減少に捕獲の効果が出ている。
- ❑ ササや林床への影響について柵内外で今後調査